



岩手県立大学
平成27年度高度技術者養成講習会

受講者
募集

Intel Edisonで学ぶ
BLEセンサーノード開発実習

岩手県立大学いわてものづくり・ソフトウェア融合テクノロジーセンター (i-MOS)では、ものづくりとソフトウェアを融合してものづくりの現場の人材育成のために、国および県の支援を受けて、下記により高度技術者養成講習会を開催いたします。
今回の講座は「Intel Edisonで学ぶBLEセンサーノード開発実習」です。
皆様の積極的な参加をお待ちしております。

受講料
無料

日時 平成27年8月6日(木)～8月7日(金) 9:00～17:00

会場 岩手県立大学 地域連携棟2F システム実習室

対象 UNIXの基本コマンドおよびJavaScriptの基本について理解している方
(希望者には予習教材を提供します)

定員 15名

申込期限 平成27年8月4日(火) 17:00

講師 株式会社イワテシガ 田中 充 氏

セミナー内容

メータやセンサー等、従来は単独で動作していたものが、無線技術や省電力技術等の進化によって相互接続されるようになり、2020年には数百億台ものデバイスがインターネットに接続されると言われています。このような仕組みはIoT(Internet of Things)と呼ばれています。

そのIoTを支える通信技術および通信プロトコルとして、MQTT(Message Queue Transport Telemetry)とBLEが注目を浴びています。MQTTは軽量通信プロトコルであり、センサノードから少量のデータを定期的を送受信することに向いています。BLEは省電力の通信技術で、主要なスマートフォンとも接続可能な技術です。

昨秋発売されたIntel Edisonは、IoTでの利用を前提としているコンピューティングモジュールです。SDカードサイズでありながらも、WiFi/BLE(Bluetooth Low Energy)の通信機能、4GBのフラッシュメモリを搭載しており、IoTに特化した開発環境が提供されています。

当研修では、このIntel Edisonを活用して、BLEセンサノードの開発方法とデータ集約手法の理解を深めるため、以下の内容を実践的に学びます。

【主な内容】

- ・ Bluetooth Low Energyの基本
- ・ Intel Edisonの開発環境
- ・ Intel EdisonによるBluetooth Low Energy通信制御
- ・ BLEセンサノードの開発
- ・ BLEセンサノードからのデータの収集
- ・ MQTT通信プロトコルの基本
- ・ MQTTによるセンサノードとデータ集約クラウドサービスの連携

申込方法

・ 必要事項①～⑥をご記入いただき、E-mailにてお申込み下さい。

- ①講習会名「Intel Edisonで学ぶBLEセンサーノード開発実習」
②会社名・学校名③所属④氏名⑤メールアドレス⑥電話番号
申込アドレス： i-mos_kousyu@ml.iwate-pu.ac.jp

※受講申し込みがあった際には、必ず受付確認メールを送信しております。
2～3日経っても受付確認メールが届かない場合は、下記問合せ先までご連絡下さいますようお願いいたします。



QRコード



・ QRコードからお申込の場合は、氏名・企業名(所属・役職)・連絡先電話番号をお知らせ下さい。

問合せ先

岩手県立大学 地域連携室 i-MOS事務局 上関・谷地 畝
※本講座に対するご質問は、電話またはメールにてお願いします。
TEL: 019-694-3330 E-mail: i-mos_kousyu@ml.iwate-pu.ac.jp

